

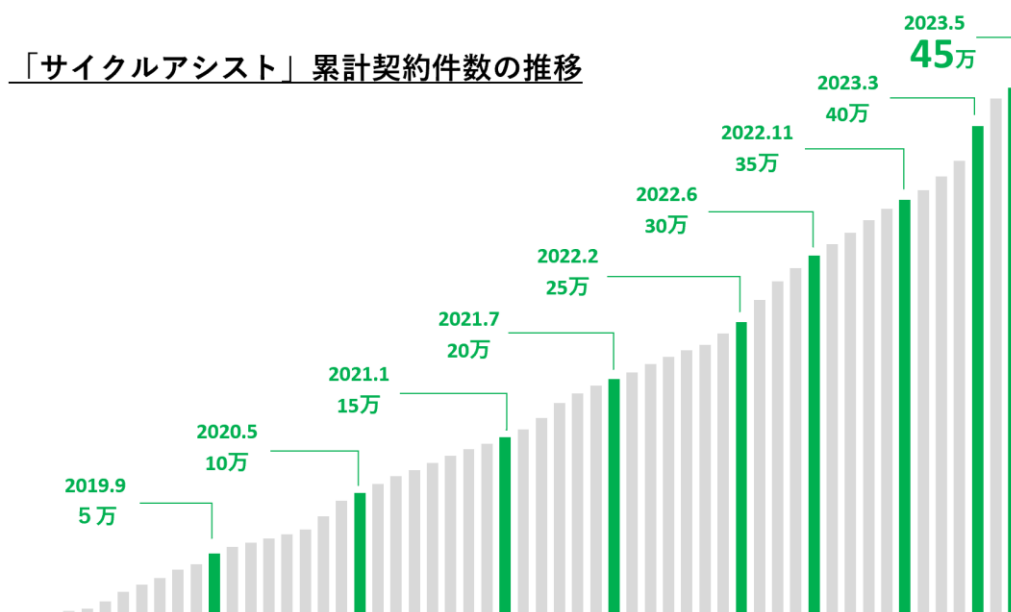
楽天損保、自転車ユーザー向け傷害総合保険「サイクルアシスト」 の契約件数が累計 45 万件を突破

楽天損害保険株式会社（以下「楽天損保」）は、2023 年 5 月 1 日に自転車ユーザー向け傷害総合保険「サイクルアシスト」（以下「サイクルアシスト」）の契約件数が累計 45 万件を突破したことをお知らせします。



2018 年 10 月に販売を開始した「サイクルアシスト」は、2023 年 3 月から 4 月における新規契約件数が前年同期比 63%増となるなど大きく伸長し、累計契約件数は過去最短の約 2 カ月で 5 万件増加しました。

「サイクルアシスト」累計契約件数の推移



Rakuten 楽天損保

日常生活において身近な自転車ですが、昨今、自転車に関与する交通事故が増加しています。警視庁によると、2022 年、交通事故全体に占める自転車関与事故の割合を示す「自転車関与率」は、東京都内では 46.0%にも昇り、2016 年以降増加傾向にあります（注 1）。また、改正道路交通法の施行により、2023 年 4 月 1 日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されています。自転車に関与する交通事故に対する意識が社会全体で高まっている中で、楽天損保の「サイクルアシスト」も順調に契約件数を増やしています。

「サイクルアシスト」は、自転車ユーザー向けに万が一の事故に備えた保険商品となっています。自転車で転倒してケガをしたり、自動車にひかれてケガをした場合などの交通事故によるケガや、偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物を壊して損害を与えた場合の賠償責任を補償します。ご契約いただくと保険料支払額の 1%分の楽天ポイントが進呈されるほか、貯まったポイントを使って保険料のお支払いも可能です（注 2）。

楽天損保は、Fintech への取組みの一環として、引き続き IT を活用した商品・サービスの開発を目指します。さらなるサービスの向上に努め、お客さまが安心して日々の暮らしを送ることができるよう、人々と社会をエンパワーメントしてまいります。

（注 1）出典：都内自転車の交通事故発生状況

https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/about_mpd/jokyo_tokei/tokei_jokyo/bicycle.html

（注 2）ポイント進呈・利用には一定の条件および上限がございます。ポイントプログラムの詳細は当社ホームページをご確認ください。保険加入に伴うポイントの進呈は、楽天エコシステムによる募集経費の削減効果等を楽天会員に還元する制度です。楽天グループのポイントキャンペーン（SPU 等）とは異なるプログラムです。

■楽天損保「サイクルアシスト」

<https://www.rakuten-sonpo.co.jp/family/tabid/997/Default.aspx>

以上

【お問い合わせ先】

楽天損害保険株式会社 経営企画部

kikaku@rakuten-sonpo.co.jp